

「能登半島地震復興ツーリズムに向けたコンテンツ造成事業」運営業務
企画提案公募仕様書

1 委託業務の名称

「能登半島地震復興ツーリズムに向けたコンテンツ造成事業」運営業務

2 本業務の目的

本業務は、能登を「応援するための旅行」ではなく、現地に赴いて現状を知り、地域の人々と交流しながら、学びと成長につながる体験を得る「体験型・共創型の復興ツーリズム」として新たな価値を提供することを目的とする。

復興ツーリズム会議やモニターツアーを通じて、震災の記憶と現在の復興の姿を伝え、参加者の視点から得られた気づきや意見をもとに今後に向けたアイデアを集約する。

また、企画開発の段階から効果的に情報発信・プロモーションを行うことで震災の風化防止を図るとともに、得られた成果を次年度以降の持続的な取り組みに繋げ、能登への誘客促進と地域の再生に寄与するものである。

3 実施期間・場所

首都圏等及び県内（いずれも（公社）石川県観光連盟（以下「当連盟」という。）と委託事業者との協議により決定）。

4 実施内容

「能登半島地震復興ツーリズムに向けたコンテンツ造成事業」の企画・運営及び付随する業務

5 履行期間

契約締結の日から令和7年12月26日（金）まで

6 委託金額の上限額

19,063,000円（消費税及び地方消費税含む）

なお、本業務に係る経費は下記の3項目に振り分けることとし、②情報発信・プロモーションにかかる経費については、委託金額の総額に比して3割程度を上限とすること。

- ①誘客コンテンツの造成にかかる経費
- ②情報発信・プロモーションにかかる経費
- ③専門家派遣にかかる経費

7 委託業務の内容

本事業においては、当連盟と協議・調整を行いながら、以下の業務を実施すること。各業務の具体的な内容や、仕様書に定めのない事項については、当連盟と協議の上で決定するものとする。

また、本事業は観光庁の「能登半島地震からの復興に向けた観光再生支援事業」に採択された事業であるため、当連盟が行う観光庁への報告業務等に協力すること。

1. 新たな復興ツーリズムのツアー造成に向けた業務

(1) 県外での復興ツーリズム会議の企画・運営

復興ツーリズムに対する理解促進と新たなツアー造成に向けたニーズの把握を目的として、復興ツーリズム会議を開催する。会議には、地域づくりに携わる有識者などを招き、被災地・能登の現在の姿を伝えるとともに、復興ツーリズムの可能性について意見交換を行う。

- ・ 観光、復興、地域活性化等の分野で活動する事業者や経営者などの有識者を招聘すること。
- ・ 少なくとも東京・大阪の2会場で開催すること。

(2) 復興写真展の開催（ツーリズム会議と連動）

能登の現状を「写真」を通じて伝える復興写真展を開催する。視覚的に訴えることで、震災の記憶の風化を防ぐとともに、能登への関心や訪問意欲を喚起するきっかけとなる情報提供を行う。

- ・ 上記ツーリズム会議と連動して複数回開催すること。十分な集客かつ効果的な発信が見込める会場及び実施時期を提案すること。なお、会場使用料は委託金額に含むものとする。
- ・ 震災直後から現在に至るまでの能登の変化を伝える構成とすること。
- ・ 写真展自体もプロモーション素材として発信・展開可能な形で運営すること。
- ・ 運営事務局を設置すること。
一般来場者からの問い合わせ対応や、関係団体との調整等を行うため、事務局を設置すること。

○各会場の設営について

- ・ 来場者に写真展の主旨・目的が適切に周知されるよう、写真を効果的に展示する工夫を行うこと。
- ・ 来場者や関係者等の安全管理や展示作品の管理に配慮した機材や電源等の調

整・調達を行うこと。

○搬入搬出について

- ・写真家との搬入出時間、作品設置・撤去に係る全ての調整を行うこと。
- ・会場設営・撤去、作品搬入・搬出、作品設置・撤収に係る業者（運搬事業者を含む）や会場との搬入車両、人員の出入など必要となる全ての事項を調整し、適切に実施すること。

○各会場の運営について

- ・会場に応じて、予測される来場者を踏まえ、十分な人員を配置すること。
（受付、作品監視、来場者安全確保及び販売対応補助など）
- ・イベント概要など来場者への配布物の制作・設置を行うこと。
- ・イベント会場等で発生した廃棄物の回収・処分をすること。

(3) 能登での復興ツーリズム会議&モニターツアーの実施

復興ツーリズムの担い手となる有識者や一般参加者が実際に能登を訪問し、現地での視察・交流・議論を通じて、今後の展開に向けたモデルを体験・検証する。

- ・ 県外会議に参加した有識者を能登に招待し、一般参加者の募集も検討すること。
- ・ 被災地の視察や現地事業者との交流の機会を設けること。
- ・ モニターツアーを通じて、参加者の感想を共有・議論する場を設け、得られた意見を取りまとめること。
- ・ 訪問先は奥能登6市町から選定すること。

(4) 「ほっと石川旅ねっと」内に設置するオンラインギャラリーの構築

「ほっと石川旅ねっと」内に、写真家ごとの復興関連写真を紹介するオンラインギャラリーを設置すること。

- ・ 各写真家と協議の上、掲載写真および説明文（HP用）を作成すること。
- ・ 掲載にあたり、著作権などの権利関係を適切に調整すること。

(5) 広報の実施

本事業の成果や活動を広く周知し、復興ツーリズムの理解促進と参加意欲の向上を図るため、効果的な広報を行うこと。

① 広報物の制作・配布

- ・ イベント告知のための広報物（チラシ・ポスター等）を制作すること。
- ・ 掲示・配布先の提案、配布依頼、送付先リストの作成および発送業務を行

うこと。

② SNS 活用

- ・ 当連盟公式 SNS「ほっと石川旅ねっと」(Instagram、X) を活用した、効果的な発信を支援すること。

③ その他広報活動

- ・ 広告出稿、プレスリリースの作成、報道機関向け内覧会の実施など、効果的な広報方法を提案すること。

8 効果検証・成果報告

復興ツーリズム会議やモニターツアーをはじめとする各取組の効果を検証し、得られた成果や知見を整理・分析のうえ、次年度以降の事業展開に資する提案を行うこと。あわせて、事業終了後には、効果検証を含む報告書や関連資料、報道実績などを取りまとめ、当連盟へ提出するものとする。

- ・ **報告書の作成と提出物**

事業終了後、以下の成果物を当連盟へ提出すること：

1. 報告書

- ① 本業務にかかる効果検証・分析レポート
- ② 分析結果に基づき、来年度以降のターゲティング案およびプロモーション戦略に関する改善提案
- ③ 観光庁への報告資料

2. 業務で作成したすべての成果物（マニュアル、広報物データ、記録写真）

3. 報道実績報告書（新聞記事、Web・SNS の掲載情報、テレビ放送動画 等）およびそのコピーまたはデータ（可能な範囲で）

9 著作権等の扱い

(1) 成果物に関する著作権、著作隣接権、商標権、商品化権、意匠権及び所有権等の一切の権利（以下、「著作権等」という。）は、当連盟が保有するものとする。但し、成果物の作成時において請負者又は第三者が著作権等を有する著作物等（以下、「既存著作物」という。）が含まれている場合、当該既存著作物の著作権等は、個々の著作者等に帰属するものとする。

(2) 納入される成果物に既存著作物が含まれる場合には、請負者が当該既存著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に係る一切の手続を行うものとする。

1 0 委託費用の支払い

委託業務完了後に受託者からの請求に基づいて行う。

1 1 情報セキュリティに関する事項

別添「石川県情報調達共通特記仕様書」を遵守すること。

なお、「県」を「石川県観光連盟」と読み替えること。

1 2 個人情報の取扱いに関する事項

仕様書別紙「個人情報の取扱いに係る特記事項」を遵守すること。

1 3 その他共通留意事項

- (1) 当連盟は、業務実施過程において本仕様書記載の内容に変更の必要が生じた場合、必要に応じて双方合意の上変更することができるものとする。
- (2) 受託者は、業務実施過程で疑義が生じた場合は、速やかに当連盟に報告・協議を行うこと。
- (3) 既に事業を実施することを決定し、公表している自主事業や国や地方公共団体等から補助金等を受けて実施予定の事業と、本業務を合体させて提案することは認めない。
- (4) 業務実施に当たっては、業務に精通し、全体の掌握・監督を行う責任者を配置するとともに、当連盟と逐次協議を行い、委託業務を進めること。
- (5) 受託者が本仕様書に違反して回復の見込みがないとき、又は業務を完了する見込みがないときは、当連盟は契約を解除して損害の賠償を請求することができる。
- (6) 天災等のやむを得ない事由により、計画に変更が生じた場合又は本仕様書に明記のない事項について、双方協議の上、決定することとする。